



グローバル人材の育成

運動会もお陰様で終了し、各学級もそれぞれの色を放ちながら、人間関係を深め始めたようです。今後とも、本校の教育活動への御理解と御協力について、心より感謝申し上げます。

さて、本号では「留学」について少しお話をさせていただければと思っています。

いつからか、保護者の方々から、留学についてのご質問をいただくようになりました。

私自身も、留学といった進路を一つの選択肢として生徒に考えさせることは、必要な時代になってきたと感じています。もちろん、「留学すればよい」といったことではありません。大切なことは、子供たちが、より広い視野で物事を捉え、行動しようとすることです。

私が学生の頃には、留学など一部でしかなかったと感じておりましたが、今は、私立、公立関係なく、高校生にもなると、留学先を探し求めている状況が散見されるようになりました。

確かに、日本を離れて、世界の人々と話すことや、世界から見た日本や自分の家族をみつめることは、自分の人生を考える良いきっかけになる可能性があります。日本にいてもできるといった子どもは、もちろんいるとは思いますが、「百聞は一見に如かず」、実際に体験して感じることもあろうかと思えます。

一方で、デメリットもありそうです。未成熟な子どもが、他の文化を冷静に見れずに日本文化を単に否定的に見るようになってしまったり、家族や友人から離れての生活で、ホームシックなり、極度に落ち込んで帰国したりなどです。

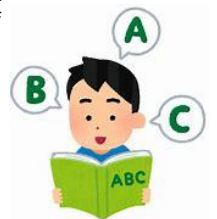
そこで、ここでは、本年度初めの保護者で招いた、東京都教育委員会が連携している旅行会社の方（講師）の講演会内容を以下にまとめましたので、ご参考ください。



< 講演内容 >

1 留学について

- (1) 種類：サマーキャンプや短期プログラム、ホームステイ、高校留学（交換留学、私費留学）
 - (2) 留学数：2033年までに50万人（コロナ前22.2万人）※教育未来創造会議（令和5年4月）
 - (3) 国別数（留学渡航国別日本人留學生数 JAOS 海外留学協議会 2022年）：
カナダ（20.7%）、アメリカ（19.9%）、オーストラリア（15.5%）、フィリピン（12.4%）
イギリス（8.9%）、その他、ニュージーランド、韓国、中国、アイルランド等
 - (4) 国別の高校留学の違い
 - カナダ、オーストラリア、ニュージーランド
⇒公立高校が多い、移民国家でESL※が多い、職業に密着した勉強
 - アメリカ
⇒公立、私立の差が大きい、移民を規制、ESLがない、私立高校は、大学進学を意識
- ※ ESL（英語を母国語としない人のための英語の研修）



2 留学先の国別状況（注意：あくまでも、講演会当日の講師の発言をまとめたものです）

- (1) カナダ：発音がきれい、公立高校が多く、職業に密着した勉強、留学期間が選択できる
※ホストファミリーは海外生まれ（東南アジア系）

(2) オーストラリア：オーストラリアまなりの英語、他民族国家でインド、中国系移民が多い
都市部はアジアグローバル ※ホストファミリーはインド系・中国系が多い

(3) ニュージーランド：自然豊かで羊の数が人口より多い、のどかで穏やかな国民性
高校1年、2年終了後に専門学校で職業の勉強をする人が多い。

(4) アメリカ：私立高校への留学が多い（期間は1年間が多い）、ESLがほとんどない、
主体的で積極性が大切

3 グローバル人材とは

○主体性積極性、挑戦する力、異文化理解力、ストレスを乗り越える力、語学力・コミュニケーション力
※経済産業省が提唱する社会人基礎力より

○自信・自己肯定感を高める

「自分自身に満足している」日本人は最下位（内閣府調査）

○世の中はグローバル化へ

社会構造の変化（日本の人口減少、産業界のニーズ、世界の課題、高等教育の変化）

⇒グローバル化／国際化



4 留学の魅力と注意点

(1) 注意点

①費用⇒講演会では具体的な国別の金額が提示されましたが、記載を控えます。

②自信と不安⇒留学で失敗例がいくつか紹介されましたが、記載を控えます。

③学力&語学力⇒留学前に語学が一定程度出来ていることが重要。

(2) 魅力

精神的に強くなる、自立と積極性が身に付く、進路選択が広がる、異文化理解が高まる
ネイティブ語学が身に付く、国際性が身に付く、生きる世界が広がる

5 その他

国や都の留学支援事業を最後に紹介

(1) 文部科学省の支援 トビタテ！留学ジャパン

(2) 東京都の支援 次世代リーダー育成道場



<雑感>

いかがでしたか？ AIが進展する中で、語学など必要なのか？などとの御意見もあろうかと思いますが、私は、やはり言葉を交わしたコミュニケーションは、相手を理解する上で、とても重要な要素であると感じています。

日本が大きく変わる時代、単なる旅行でなく、異文化に入り込んでの生活で、様々な人や価値感と出会い、自分を見つめ直してみたい。そんな子どもたちが、今後の日本を大きく変え、今までにない新しい日本を築き上げてくれると心から楽しみにしています。



栄光を讃えて



部活動名	大会名・種目・順位等
剣道部	東京都剣道連盟会長杯 第六ブロック予選会
	男子団体
	敢闘賞
	女子団体
	敢闘賞